

1. 科目名 (単位数)	臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践) (2 単位)	3. 科目番号	PSMP5184
2. 授業担当教員	鶴 光代		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	力動論に基づく心理療法、行動論・認知論に基づく心理療法、その他の心理療法について、その理論と方法の実際を、講義とロールプレイングや体験的学習を通して指導する。また、そうした理論と方法を、心理に関する相談、助言、指導等へどう応用するかについての実感的学習を促す。 心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整について、事例を通して指導する。		
8. 学習目標	力動論に基づく心理療法、行動論・認知論に基づく心理療法、体験論に基づく心理療法、その他の心理療法について、その理論と方法を説明できる。 心理療法の諸理論と方法を、心理に関する相談、助言、指導等にどのように応用するかを理解できる。 心理支援を要する者の特性や状況に応じて、適切な支援方法を選択し調整することについて、その実践の仕方を説明できる。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート 課題	力動論に基づく心理療法、行動論・認知論に基づく心理療法、その他の心理療法について理論の概要をまとめる。また、それらの心理療法の事例報告を読み、事例のアセスメント、支援の展開、支援における他職種連携・協働について調べる。		
10. 教科書・参考書 ・教材	【教科書】鶴光代・津川律子編『シナリオで学ぶ心理専門職の連携・協働』誠信書房、2018。資料の配付 【参考書】C.R.ロジャース著 末武泰弘他訳『カウンセリングと心理療法』岩崎学術出版社、2005 年。 成瀬悟策 『動作療法の展開』誠信書房、2014 年。 鶴光代『臨床動作法への招待』金剛出版、2007 年。		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 課題レポートにおいて、力動論および行動論・認知論、その他の療法論に基づいて、理論と方法を記述した。 授業での発表において、心理療法の諸理論と方法を心理に関する相談、助言、指導等にどのように応用するかについて言及し、適切な支援方法の選択・調整について説明した。 ○評定の方法 授業での発表や議論への参加50%、課題レポートでの達成レベル50%		
12. 受講生への メッセージ	心理支援を必要とする人への支援について、理論、方法を理解するなかで、心理臨床家としてのセンス、態度を磨くことにも留意してほしい。		
13. オフィスアワー	木曜日 12:30~15:00 (研究室)		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1~2. テーマ	受里面接、初回面接の実際		
	【学習の目標】 心理面接における受里面接、初回面接の意味と留意点について考える。 【学習の内容】 受里面接、初回面接の方法、留意点について学ぶ。 【キーワード】 受里面接、初回面接、来談者、面接者 【学習の課題】 来談者の立場および面接者の立場から受里面接、初回面接の意味と留意点を理解する。		
3~5. テーマ	クライアント中心療法の理論と方法の実際		
	【学習の目標】 クライアント中心療法の理論を理解し、その方法を事例記録から学ぶ。 【学習の内容】 クライアント中心療法の理論を調べて発表する。面接記録を通して、臨床心理面接の特徴を理解する。 【キーワード】 ロジャース、クライアント中心療法、受容と共感 【学習の課題】 臨床心理面接の特徴とその専門性について学習する。 【参考文献】 C.R.ロジャース著 末武泰弘他訳 (2005)「カウンセリングと心理療法」岩崎学術出版社		
6~8. テーマ	力動論による面接の理論と方法の実際		
	【学習の目標】 精神分析の理論を理解し、その方法を事例記録から学ぶ。 【学習の内容】 精神分析の理論を調べて発表する。面接記録を通して、臨床心理面接の特徴を理解する。 【キーワード】 無意識、抵抗、転移、洞察 【学習の課題】 精神分析による面接の特徴について理解する。		
9~11. テーマ	行動論・認知論による面接の理論と方法の実際		
	【学習の目標】 行動療法と認知行動療法の理論を理解し、その方法を事例記録から学ぶ。 【学習の内容】 行動理論について調べて発表する。事例記録を通して、臨床心理面接の特徴を理解する。 【キーワード】 学習理論、行動療法、認知行動療法 【学習の課題】 行動理論による面接の特徴について理解する。		
12~13. テーマ	森田療法、臨床動作法による面接 (理論と技法)		
	【学習の目標】 森田療法および臨床動作法の理論と技法を通して臨床心理面接の意義について学ぶ。 【学習の内容】 森田療法および臨床動作法における心理臨床的意義を理解する。 【キーワード】 あるがまま、軽作業、動作、体験治療論 【学習の課題】 森田療法および臨床動作法の理論を通して臨床心理面接の特徴を理解する。		
14~15. テーマ	心理支援法の選択・調整		
	【学習の目標】 心理支援法の選択・調整について事例を通して学習する。 【学習の内容】 どういう支援が要請されているか、その支援法や他職種との連携・協働等について、事例を通して理解する。 【キーワード】 事例のアセスメント、支援法の検討・選択 【学習の課題】 相手の支援要請に添った支援の仕方を検討する力をつける。		